

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		高野山大学		設置者名		学校法人 高野山学園			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成26年度)				
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数	
						実数	個別		
文学部	密教学科	30人	中一種免(宗教)	平成12年	34人	5人		2人	1人
			高一種免(宗教)	平成12年				4人	
			中一種免(国語)	平成21年				2人	
			高一種免(国語)	平成21年				5人	
入学定員合計		30人	合計		34人	5人	13人	1人	
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成27年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。								

大学名		高野山大学(大学院)		設置者名		学校法人 高野山学園			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成26年度)				
研究科	専攻	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数	
						実数	個別		
文学研究科	密教学専攻	13人	中専種免(宗教)	平成13年	6人	0人		0人	0人
			高専種免(宗教)	平成13年				0人	
	仏教学専攻	8人	中専種免(宗教)	平成13年	0人	0人		0人	0人
			高専種免(宗教)	平成13年				0人	
入学定員合計		21人	合計		6人	0人	0人	0人	
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成27年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。								

大学名		高野山大学(大学院・通信課程)		設置者名		学校法人 高野山学園			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成26年度)				
研究科	専攻	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数	
						実数	個別		
文学研究科	密教学専攻 (通信教育課程)	20人	中専種免(宗教)	平成16年	15人	1人		1人	1人
			高専種免(宗教)	平成16年				1人	
入学定員合計		20人	合計		15人	1人	2人	1人	
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成27年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。								

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成27年12月2日（水）

実地視察大学：高野山大学

実地視察委員：酒井朗委員，森山賢一委員

【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程及び教員組織等について，教育職員免許法施行規則及び教職課程認定基準等を満たしていない点があるので，制度を理解の上，速やかに是正すること。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 「精神性」に重きを置く大学としての理念は明確に示されているが，それを学科・専攻ごとの教員養成に対する理念・構想に具現化するために，教職課程に対する全学的な組織，教育課程及び基準を満たした専任教員の適切な配置も含め，教員組織を精査していただきたい。

2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目），履修方法及びシラバスの状況

- 「教職に関する科目」について，教育職員免許法施行規則第6条第1項表に定める「含めることが必要な事項」が含まれているか否か，シラバスからは判断できない授業科目や，科目の趣旨に照らして適切でないと見受けられる授業科目があるため，法令で扱うこととしている内容は必ず扱うとともに，科目の趣旨に照らして適切な授業内容となるように，内容を再度検討すること。なお，シラバスの記載内容及び記載方針を定め，法令に定める「含めることが必要な事項」が取り扱われているかどうかをシラバスの授業計画から確認できるようにすること。
- 「各教科の指導法」に関する科目について，学習指導要領を参考書又はテキストとして含め，科目の趣旨に沿った内容を行っていることが明確になるようシラバスの授業計画から確認できるようにすること。
- 教職課程の必要配置専任教員について，適切に配置されていない状況が確認された。教職課程認定基準を満たすように速やかに是正すること。

3. 教育実習の取組状況

- 全ての教育実習先に担当指導教員が巡回指導を行うなど、丁寧な教育実習指導が行われている状況が確認された。引き続き、地元教育委員会・学校と連携を進め、巡回指導を含め、適切な教育実習指導に努めていただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 少人数の特性を活かしたきめ細やかな指導体制が確立されていることが確認できた。一方で、教職課程室は確認できたものの、教員採用試験等、教職を目指す学生にとってより相談しやすい環境づくりにより一層努めていただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 町教育委員会を通じた放課後こども教室等のボランティアは確認できたが、認定を受けている学校種にあった中学校及び高等学校教員の養成により一層活かすことができるよう、ボランティアのさらなる充実を図っていただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 書道教室等、大学の特色ある施設が確認できた。一方で、図書については、教職・教育学関連の図書について新刊も含め、充実を図っていただきたい。

7. 通信課程等

- 大学の学科・専攻等が有する教職課程（通学教育の課程）と通信教育の課程が同一である場合のみ、通信教育の課程の専任教員については、通学教育の課程の専任教員をもってあてることができるため、貴学においては専任教員について適切に配置すること。

8. その他特記事項

- 大学案内における取得可能な免許状の表記等広報及び大学要覧におけるカリキュラム等は、学科・専攻別で精査していただく必要がある。